

令和3年度 第5期大和市地域福祉計画評価シート

基本目標Ⅰ 一人ひとりに支援が行き届き、誰もが自分らしく安心して暮らせるまち

【個別目標Ⅰ】 支援が必要な人たちを把握し、適切な支援につなげます

《主な取り組み》

- ①各種訪問相談を実施し、アウトリーチの強化に努めます。
- ②見守りのネットワークを充実させ、支援を必要とする人を見逃さないよう努めます。
- ③誰もが住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう各種自立支援策を推進します。
- ④生活困窮者自立支援法に基づく各種支援について、
関係機関と連携を図りながら進めます。

事業所管課による評価は、目標値の達成を視点とした評価に加え、事業実施にあたり改善工夫を図ったかを視点とした評価や前年度実績値との比較等を行い、総合的に評価をしています。

▼令和3年度（2021年度）取り組み状況について

《成果を計る主な指標》

| 指標の項目 | 担当課 | 計画策定時 H29年度 | 実績値 R2年度 | 中間目標値 R3年度 | 実績値 R3年度 | 最終目標値 R5年度 | 事業所管 課による 評価 |
|---------------------------------------|-----------|----------------|-------------|---------------|-------------|---------------|--------------------|
| ①乳児家庭全戸訪問事業による訪問率 | すくすく子育て課 | 99.6% | 90.7% | 100% | 95.0% | 100% | ○ |
| ②「地域の見守りと安心できるまちづくりに関する協定」の締結事業者数（累計） | 人生100年推進課 | 19事業所 | 21事業所 | 25事業所 | 22事業所 | 27事業所 | △ |
| ③生活困窮者自立支援事業の相談受付件数 | 生活援護課 | 201件 | 700件 | 250件 | 254件 | 300件 | ○ |

《参考指標》

| 指標の項目 | 担当課 | 計画策定時 H29年度 | 実績値 R2年度 | 中間目標値 R3年度 | 実績値 R3年度 | 最終目標値 R5年度 | 事業所管 課による 評価 |
|--------|--------|----------------|-------------|---------------|-------------|---------------|--------------------|
| 年間就労者数 | 障がい福祉課 | 21名 | 37名 | — | 42名 | — | ○ |

▼成果を計る主な指標の取り組み状況の検証について（市の考え）

①乳児家庭全戸訪問事業による訪問率

新型コロナウイルス感染症の流行により、自宅訪問を希望されない家庭が一定数いたため目標は達成できませんでしたが、訪問を希望しない場合でも電話により育児に対する助言等を適時行いました。

②「地域の見守りと安心できるまちづくりに関する協定」の締結事業者数（累計）

新たに1事業所増え、22事業所と協定を結ぶことができました。
既に協定を締結している事業者の同業他社に声かけするなど、更に締結事業者を拡大していきます。

③生活困窮者自立支援事業の相談受付件数（延べ）

相談件数は、前年よりも減少していますが、さまざまな理由により、相談に至らない潜在的な困窮者は存在すると考えられます。また、新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えないことから、相談体制を引き続き維持する必要があるため、迅速な支援が行えるよう前年度と同様に相談窓口業務を市社会福祉協議会に委託して相談者と身近な相談窓口として機能させていくことが必要です。

▼参考指標の取り組み状況の検証について（市の考え）

年間就労者数

就労相談等を通して、障がい者の個々のニーズに即した支援の結果、就労に結びつく方は着実に増えています。

▼総括（市の考え）

・保健・福祉分野の訪問活動の件数は前年度と比べ増加傾向にあり、コロナ禍においても支援が途切れないよう努めています。

・障がい者や母子家庭等、就労に向けて支援を行いました。長引く新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入や雇用に不安を抱える方が増加していることが考えられるため、引き続き適切な支援を行っていきます。

▼社会福祉審議会意見

- ・コロナ禍の中、努力して取り組まれた点は評価する。
- ・乳児家庭全戸訪問事業に関しては、引き続き全戸訪問に努められたい。
- ・「地域の見守りと安心できるまちづくりに関する協定」については、事業者間の情報交換を検討されたい。
- ・生活困窮者自立支援事業についても、一層努力することを期待したい。

令和3年度 第5期大和市地域福祉計画評価シート

基本目標1 一人ひとりに支援が行き届き、誰もが自分らしく安心して暮らせるまち

【個別目標2】 相談体制を整え情報提供を充実します

《主な取り組み》

①地域住民に身近な圏域での相談や電話による相談など、利用しやすい体制を整えます。

②専門的な相談から総合的な相談までできる

質の高い相談体制を整えます。

③福祉に関する情報を広く地域住民に届けます。

事業所管課による評価は、目標値の達成を視点とした評価に加え、事業実施にあたり改善工夫を図ったかを視点とした評価や前年度実績値との比較等を行い、総合的に評価をしています。

▼令和3年度（2021年度）取り組み状況について

《成果を計る主な指標》

| 指標の項目 | 担当課 | 計画策定時 H29年度 | 実績値 R2年度 | 中間目標値 R3年度 | 実績値 R3年度 | 最終目標値 R5年度 | 事業所管 課による 評価 |
|----------------------------|----------|----------------|-------------|---------------|-------------|---------------|--------------------|
| ①やまと24時間健康相談における入電件数 | 健康づくり推進課 | 18,068件 | 17,709件 | 18,500件 | 14,758件 | 18,500件 | △ |
| ②屋内こども広場及び子育て支援施設での子育て相談件数 | ほいく課 | 699件 | 524件 | 1,162件 | 674件 | 1,375件 | △ |
| ③ひとり親家庭等からの相談件数 | こども総務課 | 1,524件 | 2,827件 | 1,500件 | 3,693件 | 1,500件 | ○ |
| ④子育てサロン案内「ほっとする空間」の配架箇所数 | 健康福祉総務課 | 95箇所 | 0箇所 | 105箇所 | 0箇所 | 110箇所 | — |

《参考指標》

| 指標の項目 | 担当課 | 計画策定時 H29年度 | 実績値 R2年度 | 中間目標値 R3年度 | 実績値 R3年度 | 最終目標値 R5年度 | 事業所管 課による 評価 |
|--------------|-----------|----------------|-------------|---------------|-------------|---------------|--------------------|
| 終活支援に関する相談件数 | おひとりさま政策課 | — | 161件 | — | 285件 | — | ◎ |

▼成果を計る主な指標の取り組み状況の検証について（市の考え）

| |
|--|
| ①やまと24時間健康相談における入電件数 |
| 新型コロナウイルス感染症の流行により、新たな健康相談窓口が設置され、併せて様々な相談窓口の周知を強化したこともあり、24時間健康相談自体の入電件数が減少したものと考えます。相談体制や相談の質の確保として、コールセンター視察や業者と課題の共有を行うなど実施体制の整備に努めました。 |
| ②屋内こども広場及び子育て支援施設での子育て相談件数 |
| 子育て支援施設での相談件数は増加したものの、屋内こども広場においては、新型コロナウイルス感染防止措置として、ちびっこ広場等におけるイベントの実施回数を大幅に縮小したことから、件数が減少しており、イベントの再開状況に合わせて指定管理者とともに当該事業の周知方法等について適宜見直しを行います。 |
| ③ひとり親家庭等からの相談件数 |
| 新型コロナウイルス感染症の影響による失業や収入減少により、生活一般（主に資格取得）相談が増加しています。 |
| ④子育てサロン案内「ほっとする空間」の配架箇所数 |
| 各地区民生委員児童委員協議会が開催する子育てサロンが休止しているため、令和3年度版は未発行ですが、サロンの再開の目途が立ち次第新版を発行します。また、子育てサロンの休止等により、主任児童委員と子育て世帯とのつながりが減少していることが懸念されることから、地域の主任児童委員を紹介するチラシ作成に今後取り組みます。 |

▼参考指標の取り組み状況の検証について（市の考え）

| |
|---|
| 終活支援に関する相談件数 |
| コロナ禍を経験して、「死」を身近に感じ、ご自身のエンディングについて考える機会が増加した結果、終活相談の件数が対前年比で約1.8倍に増加しました。 |

▼総括（市の考え）

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">適切な支援に迅速につなぐことができるよう、様々な機会を捉えて相談窓口の周知を行っています。また、健康福祉に関する情報提供について、個別案内に加えガイドブックやチラシ等を作成し広く市民に周知できるよう努めています。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、相談件数が前年度と比較し増加した事業がみられます。引き続き感染症の拡大防止に配慮しつつ、窓口のほか地域に身近な場での相談やメールによる相談など、市民が利用しやすい体制を整えます。 |
|---|

▼社会福祉審議会意見

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">コロナ禍の中、努力している点は評価できる。日本では母子世帯の貧困率が高い状況を鑑み、ひとり親家庭等からの相談支援に力を入れていただきたい。終活支援については、よりPRに励んでいただきたい。 |
|--|

令和3年度 第5期大和市地域福祉計画評価シート

基本目標1 一人ひとりに支援が行き届き、誰もが自分らしく安心して暮らせるまち

【個別目標3】 包括的な支援体制を整えます

《主な取り組み》

- ①支援を必要とする人やその家族の状況を把握しながら切れ目のない適切なサービスを提供します。
- ②分野横断的な課題等にも対応ができるよう、
関係機関等との連絡会議を開催し、情報共有・連携の強化を図ります。

事業所管課による評価は、目標値の達成を視点とした評価に加え、事業実施にあたり改善工夫を図ったかを視点とした評価や前年度実績値との比較等を行い、総合的に評価をしています。

▼令和3年度（2021年度）取り組み状況について

《成果を計る主な指標》

| 指標の項目 | 担当課 | 計画策定時 H29年度 | 実績値 R2年度 | 中間目標値 R3年度 | 実績値 R3年度 | 最終目標値 R5年度 | 事業所管 課による 評価 |
|----------------------|-----------|----------------|-------------|---------------|-------------|---------------|--------------------|
| ①個別支援会議の開催回数 | すくすく子育て課 | 114回 | 186回 | 120回 | 249回 | 120回 | ◎ |
| ②市指定事業所の実地指導 件数割合 | 介護保険課 | 33.3% | 0.0% | 33.3% | 10.1% | 33.3% | △ |
| ③地域ケア会議の開催回数 | 人生100年推進課 | 70回 | 47回 | 72回 | 52回 | 72回 | △ |
| ④ケアマネジャーへの支援 件数 | 人生100年推進課 | 2,479件 | 3,711件 | 3,071件 | 3,220件 | 3,400件 | ○ |

《参考指標》

| 指標の項目 | 担当課 | 計画策定時 H29年度 | 実績値 R2年度 | 中間目標値 R3年度 | 実績値 R3年度 | 最終目標値 R5年度 | 事業所管 課による 評価 |
|-----------------------|---------|----------------|-------------|---------------|-------------|---------------|--------------------|
| 相談受付件数 (こもりびと支援事業) | 健康福祉総務課 | — | 539件 | — | 619件 | — | ○ |

▼成果を計る主な指標の取り組み状況の検証について（市の考え）

①個別支援会議の開催回数

令和3年度においては、個別ケース検討会議の開催を要するケースが多く、情報や支援方針を共有しました。

②市指定事業所の実地指導件数割合

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施件数を減らして実施したため、実施件数割合が目標値を下回りました。

③地域ケア会議の開催回数

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、関係者が多い個別ケースの会議や規模が大きくなる圏域レベルの会議が中止や延期となったことにより回数が微増となりました。

④ケアマネジャーへの支援件数

各地域包括支援センターによるケアマネジャー支援への注力の結果、困難ケースや高齢者虐待など緊急性の高い相談がケアマネジャーから寄せられ、支援件数が年々増加しています。

▼参考指標の取り組み状況の検証について（市の考え）

相談受付件数□（こもりびと支援事業）

当事者やその家族に継続して寄り添い、新規相談も少しずつ増えています。また、一部の当事者が主体的に動き出す機会を提供することができました。

▼総括（市の考え）

・複数の福祉課題を抱えた人にも対応できるよう、関係各課や関係機関と連携しながら、それぞれの世帯状況に合わせた支援を実施しました。

・前年度と比較し改善されつつありますが、会議として集まる機会はコロナ禍前と比較すると減少しています。一方で、コロナ禍のニーズに対応するために、関係機関等との情報共有や連携をより深めた例もありました。

▼社会福祉審議会意見

地域ケア会議のような取り組みを、高齢分野だけでなく他の分野にも広げていただきたい。

令和3年度 第5期大和市地域福祉計画評価シート

基本目標Ⅰ 一人ひとりに支援が行き届き、誰もが自分らしく安心して暮らせるまち

【個別目標4】 権利擁護の仕組みづくりを推進します

《主な取り組み》

- ①相談支援の強化や問題を早期に共有できるネットワークづくりを進め、高齢者、障がい者、子ども等への虐待防止に取り組みます。
- ②法人後見や市民後見等の仕組みづくりや市長申立等の利用補助を行うとともに、成年後見制度利用促進基本方針に沿って、成年後見制度の普及促進を図ります。

事業所管課による評価は、目標値の達成を視点とした評価に加え、事業実施にあたり改善工夫を図ったかを視点とした評価や前年度実績値との比較等を行い、総合的に評価をしています。

▼令和3年度（2021年度）取り組み状況について

《成果を計る主な指標》

| 指標の項目 | 担当課 | 計画策定時 H29年度 | 実績値 R2年度 | 中間目標値 R3年度 | 実績値 R3年度 | 最終目標値 R5年度 | 事業所管 課による 評価 |
|-------------------|-----------|----------------|-------------|---------------|-------------|---------------|--------------------|
| ①市民後見人バンク登録者数（累計） | 健康福祉総務課 | / | 3人 | 5人 | 3人 | 10人 | ◎ |
| ②成年後見制度講演会受講者数 | 人生100年推進課 | 61人 | 0人 | 100人 | 0人 | 100人 | — |

《参考指標》

| 指標の項目 | 担当課 | 計画策定時 H29年度 | 実績値 R2年度 | 中間目標値 R3年度 | 実績値 R3年度 | 最終目標値 R5年度 | 事業所管 課による 評価 |
|--------|-----------|----------------|-------------|---------------|-------------|---------------|--------------------|
| 市長申立件数 | 人生100年推進課 | 13件 | 5件 | — | 16件 | — | ○ |

▼成果を計る主な指標の取り組み状況の検証について（市の考え）

①市民後見人バンク登録者数（累計）

令和3年度について、バンク登録者3名全員が市民後見人に選任されました。また、第2期市民後見人養成研修を開講し、8名の方が実践研修に進むことになりました。今後も市民後見人が安心して活動することができるようフォローアップに努めます。

②成年後見制度講演会受講者数

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、まん延防止等重点措置が適用されたことにより中止としました。

▼参考指標の取り組み状況の検証について（市の考え）

市長申立件数

実績値が昨年度と比較し増加した理由について、制度について広く認識された結果と捉えていますが、虐待や身寄りのない方の増加により今後も件数の増加が見込まれます。

▼総括（市の考え）

・成年後見等の市長申立てや申立費用と後見人等への報酬の助成など成年後見制度の利用を支援する制度が整っており、いずれの件数も前年度と比較し増加しています。

・認知症の方の数は、本市では1万人を超えたと推計され、成年後見制度の普及啓発や後見人支援など制度の利用促進に向けた体制整備は喫緊の課題と捉えています。今後、本市における望ましい体制について、専門職や関係機関の意見も聞きながら検討を進めていきます。

▼社会福祉審議会意見

- ・市民後見人の養成については、バンク登録者を増やす努力を今後していただきたい。
- ・成年後見制度講演会についてはオンラインでの実施も検討いただきたい。

令和3年度 第5期大和市地域福祉計画評価シート

基本目標2 一人ひとりが地域に関心をもち、お互いに支えあうまち

【個別目標5】 福祉への理解と関心を高めます

《主な取り組み》

- ①福祉課題に関する講演会やキャンペーン等を実施し、広く福祉を啓発します。
- ②福祉の心が培われるよう、学校等と連携し、
体験や交流を通じた福祉教育の推進に取り組みます。
- ③社会福祉法人による地域間交流の促進等の
取り組みを支援します。

事業所管課による評価は、目標値の達成を視点とした評価に加え、事業実施にあたり改善工夫を図ったかを視点とした評価や前年度実績値との比較等を行い、総合的に評価をしています。

▼令和3年度（2021年度）取り組み状況について

《成果を計る主な指標》

| 指標の項目 | 担当課 | 計画策定時 H29年度 | 実績値 R2年度 | 中間目標値 R3年度 | 実績値 R3年度 | 最終目標値 R5年度 | 事業所管 課による 評価 |
|--|---------|----------------|-------------|---------------|-------------|---------------|--------------------|
| ①自殺対策講演会受講者数 | 健康福祉総務課 | 67人 | 0人 | 80人 | 0人 | 80人 | — |
| ②車いすバスケットボール 体験講座実施により、生徒 の福祉への理解と関心を高 めることができたと回答し た学校の割合 | 健康福祉総務課 | | 0人 | 60% | 100% | 90% | ◎ |

《参考指標》

| 指標の項目 | 担当課 | 計画策定時 H29年度 | 実績値 R2年度 | 中間目標値 R3年度 | 実績値 R3年度 | 最終目標値 R5年度 | 事業所管 課による 評価 |
|-------------------|---------|----------------|-------------|---------------|-------------|---------------|--------------------|
| 福祉の心啓発講演会参加人 数 | 健康福祉総務課 | 1,195人 | 66人 | — | 310人 | — | ○ |

▼成果を計る主な指標の取り組み状況の検証について（市の考え）

①自殺対策講演会受講者数

令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止としました。コロナ禍において他者との交流の機会が減り、心の不安を抱える人の増加が懸念されることから、今後は、講演会や多職種専門家による総合相談会など、感染状況を注視し対策を講じながら事業の実施に努めます。

②車いすバスケットボール体験講座実施により、生徒の福祉への理解と関心を高めることができた
と回答した学校の割合

令和3年度は新型コロナウイルス感染症への対策をとりながら体験講座を実施しました。座学ではなく児童生徒が直接体験できる場であることから、今後も感染症対策をとりながら事業の継続に努めます。

▼参考指標の取り組み状況の検証について（市の考え）

福祉の心啓発講演会参加人数

令和3年度は、中学校1校においてネットいじめと人権などをテーマにした講演を行いました。今後も講演内容が児童生徒にとって興味をもたれ、かつ、福祉についてより深く考える契機となるようなテーマ選定に努めます。

▼総括（市の考え）

・新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの人が集まる講演会やキャンペーンについては、中止または規模を縮小しての開催となりました。一方で、オンラインを活用した講座を開催したり、ポスターや横断幕等の掲示を通じて啓発を図ったものもあり、コロナ禍においても市民の福祉への理解と関心が高まるよう努めました。

・講演会等の普及啓発活動は感染症の状況や予防対策に留意しつつ、実施方法等について工夫をしながら取り組んでいく必要があります。

▼社会福祉審議会意見

・開催方法についてYouTubeやDVDなどメディアを活用しウィズコロナで進めていただきたい。
・小地域での情報をより充実させ、地域のことに住民が気付けるような仕組みづくりを検討していただきたい。

令和3年度 第5期大和市地域福祉計画評価シート

基本目標2 一人ひとりが地域に関心を持ち、お互いに支えあうまち

【個別目標6】 福祉活動の担い手を育成し活動を支援します

《主な取り組み》

- ①市民ボランティアの育成や社会福祉協議会の活動支援を行います。
- ②市民や地域の活動団体等と連携し、誰もが地域で暮らしやすい仕組みづくりを支援します。
- ③当事者団体の活動支援を行い、同じ悩みを抱えた人同士の情報交換や地域との交流を図ります。

事業所管課による評価は、目標値の達成を視点とした評価に加え、事業実施にあたり改善工夫を図ったかを視点とした評価や前年度実績値との比較等を行い、総合的に評価をしています。

▼令和3年度（2021年度）取り組み状況について

《成果を計る主な指標》

| 指標の項目 | 担当課 | 計画策定時 H29年度 | 実績値 R2年度 | 中間目標値 R3年度 | 実績値 R3年度 | 最終目標値 R5年度 | 事業所管 課による 評価 |
|------------------------------|-----------|----------------|-------------|---------------|-------------|---------------|--------------------|
| ①認知症サポーター養成講座受講者数(累計) | 人生100年推進課 | 12,079人 | 17,549人 | 24,079人 | 19,986人 | 30,079人 | ○ |
| ②認知症サポーター育成ステップアップ講座受講者数(累計) | 人生100年推進課 | 78人 | 225人 | 398人 | 225人 | 558人 | — |
| ③こころサポーター養成講座受講者数(累計) | 健康福祉総務課 | 927人 | 1,524人 | 1,827人 | 1,599人 | 2,287人 | ○ |
| ④あいサポーター養成講座受講者数(累計) | 障がい福祉課 | | 369人 | 495人 | 395人 | 825人 | △ |
| ⑤支援会員数(ファミリーサポートセンター事業) | すくすく子育て課 | 137人 | 115人 | 149人 | 128人 | 167人 | △ |

《参考指標》

| 指標の項目 | 担当課 | 計画策定時 H29年度 | 実績値 R2年度 | 中間目標値 R3年度 | 実績値 R3年度 | 最終目標値 R5年度 | 事業所管 課による 評価 |
|-----------------------|----------|----------------|-------------|---------------|-------------|---------------|--------------------|
| ボランティア育成研修受講者数(市社協主催) | 健康づくり推進課 | 395人 | 110人 | — | 65人 | — | △ |

▼成果を計る主な指標の取り組み状況の検証について（市の考え）

①認知症サポーター養成講座受講者数(累計)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、コロナ禍以前の約6割の実施数となりました。オンラインを活用した講座を初めて実施するなど開催方法を工夫したため、受講者数は、コロナ禍以前の水準に戻っています。

②認知症サポーター育成ステップアップ講座受講者数（累計）

講座開催に向けて準備をしていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により講座開催を見合わせました。

③こころサポーター養成講座受講者数（累計）

令和3年度は新型コロナウイルス感染症への対策をとりながら実施しました。また、ミニ講座としてYouTubeを活用した動画配信をし、こころサポーターの知識について広く市民に周知することができました。今後も感染状況を注視し、対策を講じながら事業の実施に努めます。

④あいサポーター養成講座受講者数（累計）

令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、市民向けの講座は開催せず、市職員及び団体向けの研修のみ開催しました。今後は、感染状況を注視し、市民向け講座の開催を検討してまいります。

⑤支援会員数（ファミリーサポートセンター事業）

支援会員が高齢を理由に引退していることから、支援会員数が減少しています。新規会員の募集を課題として捉えています。

▼参考指標の取り組み状況の検証について（市の考え）

ボランティア育成研修受講者数（市社協主催）

新型コロナウイルス感染症の影響により、定員を制限しての開催または一部の事業を中止することとなりました。

令和2年度に引き続き、当該事業のポイントをまとめた冊子を配付することで、コロナ禍においても、地域ボランティアの育成及び活動支援が円滑に行えるよう、工夫しながら事業を実施しました。

▼総括（市の考え）

・新型コロナウイルス感染症の影響により、各種サポーターの養成や育成講座の実績は目標値に届きませんでした。オンラインでの実施や、1回あたりの定員を制限するなど、工夫をしながら事業に取り組みました。

・各種サポーターやボランティアが円滑に活動を行うために、継続的な支援が必要であると捉えています。引き続き活動支援として、研修修了者に対してフォローアップ研修やボランティア活動に関する情報提供等を行い、モチベーションの維持やスキルアップを図ります。

▼社会福祉審議会意見

- ・受講者の組織化を検討されたい。
- ・各種養成講座の受講者のプログラムに福祉施設等の現場体験を組み込んでいただきたい。

令和3年度 第5期大和市地域福祉計画評価シート

基本目標2 一人ひとりが地域に関心を持ち、お互いに支えあうまち

【個別目標7】 気軽に集える居場所や社会参加の場をつくります

《主な取り組み》

- ①だれもが気軽に集い、世代を超えた交流や専門職への相談ができる場をつくります。
- ②子どもが安心できる地域の居場所をつくります。
- ③生きがいつくりや社会参加の場をつくります。

事業所管課による評価は、目標値の達成を視点とした評価に加え、事業実施にあたり改善工夫を図ったかを視点とした評価や前年度実績値との比較等を行い、総合的に評価をしています。

▼令和3年度（2021年度）取り組み状況について

《成果を計る主な指標》

| 指標の項目 | 担当課 | 計画策定時 H29年度 | 実績値 R2年度 | 中間目標値 R3年度 | 実績値 R3年度 | 最終目標値 R5年度 | 事業所管 課による 評価 |
|----------------------------------|----------|----------------|-------------|---------------|-------------|---------------|--------------------|
| ①ひまわりサロン利用者数（延べ） | 健康づくり推進課 | 11,148人 | 3,290人 | 11,598人 | 4,649人 | 11,830人 | ○ |
| ②こども食堂支援事業補助金の 交付対象となるこども食堂の数 | こども・青少年課 | 4カ所 | 5カ所 | 5カ所 | 6カ所 | 6カ所 | ◎ |

《参考指標》

| 指標の項目 | 担当課 | 計画策定時 H29年度 | 実績値 R2年度 | 中間目標値 R3年度 | 実績値 R3年度 | 最終目標値 R5年度 | 事業所管 課による 評価 |
|------------|--------|----------------|-------------|---------------|-------------|---------------|--------------------|
| つどいの広場来場者数 | こども総務課 | 53,733人 | 17,164人 | — | 45,273人 | — | ○ |

▼成果を計る主な指標の取り組み状況の検証について（市の考え）

①ひまわりサロン利用者数（延べ）

新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置発令により、事業中止となった期間があったため、参加者数減少へ繋がったと考えられます。開催ができない期間では、電話相談や訪問にて自宅でできるプログラムのポスティング等を行う等の工夫を行いました。

②こども食堂支援事業補助金の交付対象となるこども食堂の数

こども食堂に対する支援を新たに1カ所増やし、合計市内6カ所のこども食堂について、運営費の一部を補助するとともに、やまとニュースや広報やまとにこども食堂の特集記事を掲載し、市民から食材等の寄附を呼びかけるなど、運営支援を行いました。

▼参考指標の取り組み状況の検証について（市の考え）

つどいの広場来場者数

実施施設が1施設増加したこと、新型コロナウイルス感染症による休所を行わなかったことにより、来場者数が増加しています。

▼総括（市の考え）

・高齢者や子育て世帯等を対象とした居場所については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止としたものもありましたが、開催時間の短縮やプログラムの変更など感染予防対策を実施しながら継続したものもあり、全体では前年度と比較し利用者数等実績値は増加しています。

・各種事業の実績値が少しずつ回復していることから、気軽に集える居場所や生きがいくりの場への参加意向も回復傾向であることが推測されます。オンラインを活用するなど居場所を利用する方々の状況に合わせた様々な工夫をすることにより、事業の継続や再開に努めます。

▼社会福祉審議会意見

・コロナ禍の中、努力している点は評価できる。
・ひまわりサロンやこども食堂等地域の居場所については、広報活動に励んでいただくとともに、開催場所の増加に努められたい。

令和3年度 第5期大和市地域福祉計画評価シート

基本目標2 一人ひとりが地域に関心を持ち、お互いに支えあうまち

【個別目標8】 地域福祉活動団体との連携をすすめます

《主な取り組み》

- ①避難行動要支援者支援制度や、災害時における要配慮者の避難支援体制の整備について
自治会、民生委員・児童委員、地区社協など地域の支援者との連携を深め、取り組みを進めます。
- ②民生委員・児童委員が円滑に活動を行えるよう支援するとともに、担い手の確保に努めます。
- ③地域福祉の活動を行っている団体への活動支援を行い、
地域の支え合う力を高めます。

事業所管課による評価は、目標値の達成を視点とした評価に加え、事業実施にあたり改善工夫を図ったかを視点とした評価や前年度実績値との比較等を行い、総合的に評価をしています。

▼令和3年度（2021年度）取り組み状況について

《成果を計る主な指標》

| 指標の項目 | 担当課 | 計画策定時 H29年度 | 実績値 R2年度 | 中間目標値 R3年度 | 実績値 R3年度 | 最終目標値 R5年度 | 事業所管 課による 評価 |
|--|---------|----------------|-------------|---------------|-------------|---------------|--------------------|
| ①避難行動要支援者支援制度において地域で取り組む推進メンバーを決めている自治会の割合 | 健康福祉総務課 | 53.3% | 51.7% | 62.9% | 49.3% | 67.7% | ○ |
| ②民生委員・児童委員充足率 | 健康福祉総務課 | 99.3% | 94.9% | 100% | 96.0% | 100% | ○ |

《参考指標》

| 指標の項目 | 担当課 | 計画策定時 H29年度 | 実績値 R2年度 | 中間目標値 R3年度 | 実績値 R3年度 | 最終目標値 R5年度 | 事業所管 課による 評価 |
|-----------------|---------|----------------|-------------|---------------|-------------|---------------|--------------------|
| つながり推進補助事業の参加人数 | 健康福祉総務課 | 1,793人 | 967人 | — | 1,572人 | — | ○ |

▼成果を計る主な指標の取り組み状況の検証について（市の考え）

①避難行動要支援者支援制度において地域で取り組む推進メンバーを決めている自治会の割合

成果指標について、前年度と比較し実績は減少しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により自治会活動を控える動きもあるなか、避難行動要支援者支援制度について新たに取り組む自治会もありました。引き続き、制度に取り組んでいただけるよう働きかけをしていきます。

②民生委員・児童委員充足率

令和4年に行われる民生委員・児童委員の一斉改選に向け、いわゆる定年制を撤廃しました。民生委員・児童委員の担い手確保については、従来の定年制以外にも様々な課題があることから、民生委員候補者を選出する推薦委員や現役の民生委員・児童委員等の意見も踏まえながら充足率向上のための検討を行っていきます。

▼参考指標の取り組み状況の検証について（市の考え）

つながり推進補助事業の参加人数

地区社会福祉協議会が行う世代間交流や子育て支援など地域のつながりを推進する活動の支援を行いました。令和3年度については、例年実施していた事業の見直しや開催方法について検討するなど、各地区で取り組みを進めた結果、前年度の参加者数を大幅に上回ることができました。

▼総括（市の考え）

・地域活動への協力や地域の困りごとを相談窓口につなげるなど、民生委員・児童委員は地域福祉を推進するにあたり非常に重要な役割を担っています。令和4年に一斉改選を迎えるにあたり、定数を充足できるよう活動支援や普及啓発等を引き続き行っていきます。

・避難行動要支援者支援制度については、引き続き名簿交換や説明会の機会をとらえ、進捗状況の把握や必要な情報提供を行い、取り組みやすい環境整備に努めます。

・各種地域福祉団体の活動についても新型コロナウイルス感染症の影響を受け大幅に制限されていますが、コロナ禍の影響で生じた課題等に対応できるよう、団体や地域の支援者との連携を更に深める必要があります。

▼社会福祉審議会意見

民生委員・児童委員の充足率について、100%に近づけていただきたい。